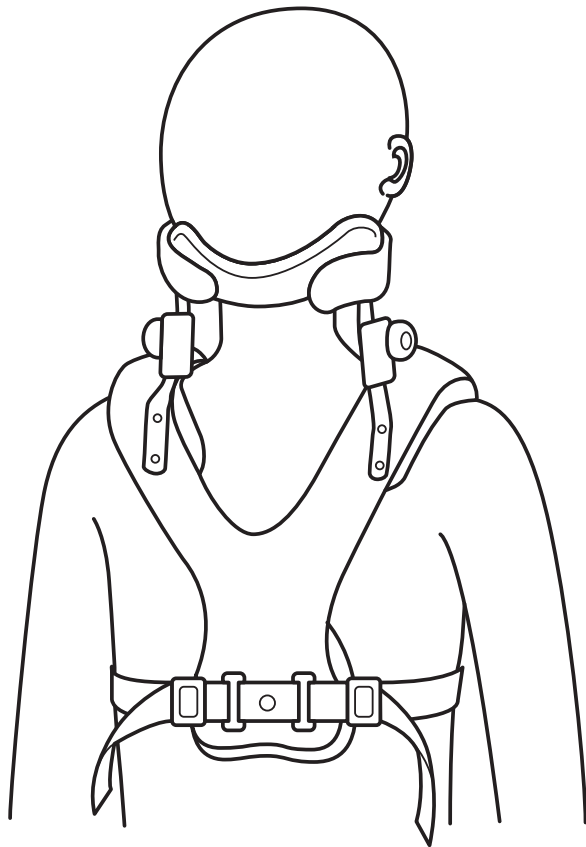


# 高齢者体験用 模擬体験装具 取扱説明書

本装具管理者・装着者向け

この度は、弊社の製品をご購入いただき誠にありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みいただき、製品を正しく安全にお使いください。  
お読みになられた後は、保証書とともに大切に保管し、必要に応じくりかえしお読みください。



# 1. 安全にご使用いただくために



## 警告

誤った使い方をしたときに、死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 頸椎や膝・足関節において手術経験のある方や現在痛みやしびれがある方は病状が軽減するあるいは完治してから使用してください。
- 模擬体験は必ず2人1組で行い、動作に危険や不安を感じたら、無理をせず使用を中止してください。
- 本製品を無断で修理、改造、調整しないでください。
- 使用目的以外のご使用はしないでください。
- 本製品に破損・異常が発生していないか、ご使用前には必ず各部を点検してください。  
万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社までご連絡ください。
- 本装具を日常的に装着しないでください。本装具は、疾病や事故等による障害の発生を室内（階段付近を除く）で模擬的に体験するためのものです。大きさや形状、その他の部分において装着者に適合していないことが考えられるため、日常的に長時間装着すると痛みやキズが発生する恐れがあります。
- 使用にあたっては、感染症等の予防のためスプレー式のアルコール消毒剤の使用をお勧めいたします。
- 装着部に発赤やかぶれ、痛みが生じた場合、直ちに医師の指導を受けてください。
- 不適合が生じた場合や変形、磨耗、異音が生じた場合など、装具の異常は、身体を傷つけることがありますので、異常を発見した場合は、直ちに弊社までご連絡ください。
- 装具の機能操作は確実に行ってください。（特に継手部分の固定、解除の際には確実に操作してください。）
- 装着の際は、ベルト、紐等により適切な締め付けを行い、正しい位置を保持してください。
- 下肢装具の場合、底材が摩耗したときに、早めに修理をご依頼ください。



## 注意

誤った使い方をしたときに、使用中に不具合を生じ、障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 装着や使用の際、継手等の可動部分で体の一部や衣服等を挟んだりして傷つける場合がありますので取り扱いには注意してください。
- 本製品は常温で使用、保管してください。（特に夏季の自動車の中など、高温で直射日光の当たる場所や、暖房器具の前に放置しないでください。）

お願い  
面ファスナーを  
(マジックテープ・クイックロン等)  
しっかり押さえてご使用ください。

○面ファスナーはしっかり押さえる事で接着されています。

△不十分な場合、接着力が得られず危険です。

○ご使用の際は、しっかり押さえて(圧力をかけて)下さい。



KAWAMURA

コルセット・補装具 着用時のカイロ（貼るカイロ等温熱剤）の  
取り扱いについての注意点



注意 カイロ等温熱剤は、直接コルセット・補装具に貼らないようお願いいたします。



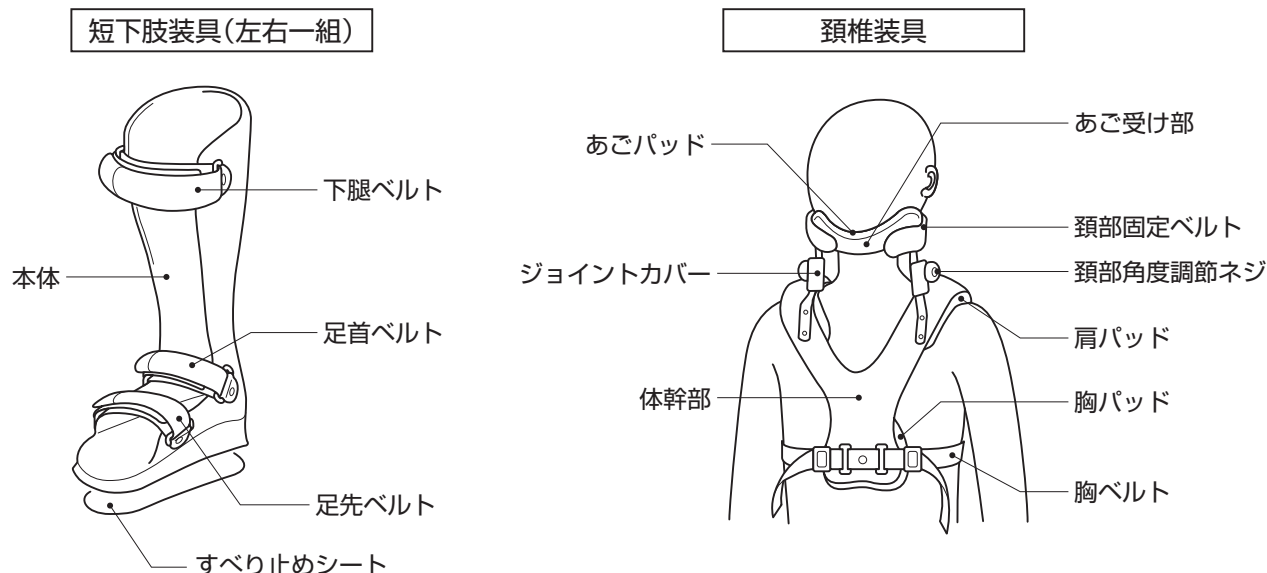
注意 金属部分（筋金部分）やプラスチック部分と身体との密着度が高い場所には、特に貼らないようお願いいたします。



注意 カイロ等どうしてもご使用される場合は、上記の事を守り、安全には十分注意をしてご使用ください。

## 2. 各部の名称

本装具は次のような部品で構成されています。付属品に不足等はないか点検してください。



## 3. 製品の特徴

「模擬体験装具」は、健常者が高齢者や障がい者の抱えるからだの不自由さを体験するために製作されたものです。誰もが避けておれない老化現象、疾病や事故等による障がいの発生を模擬的に体験することにより、高齢者や障がい者が快適で豊かな生活を過ごせるよう、周りの方々の心配りのポイントを発見する装具です。又、本装具は、社会福祉機関、教育機関等の教育を目的として発案・販売されております。

(本装具は大阪労災病院・積水化学工業(株)で共同開発されたものです。)

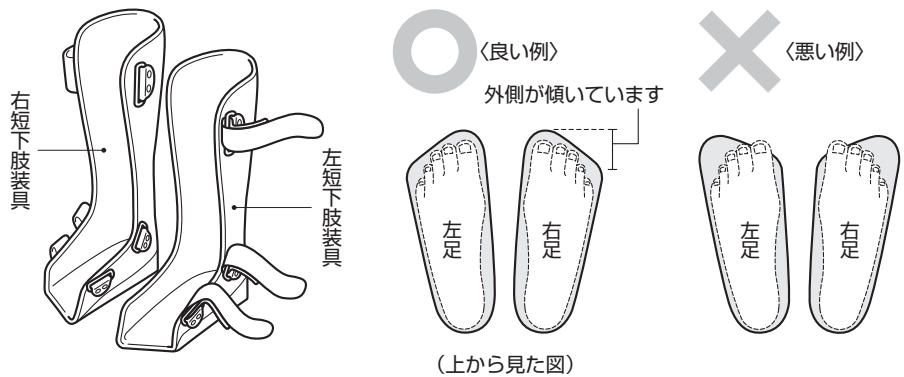
高齢者に数多く見られる下肢機能の低下、脊椎の変形が体験できます。

- 頸椎装具** あごを上方に押し上げた状態で頭部を固定することにより、歩行時には自然と体幹部分が前屈(腰曲がり状態)になります。
- 両短下肢装具** 装具の内側にウェッジをつけることで、O脚状態を人工的に作りだします。また、足関節を背屈位に保持することにより、身体のバランスをとるため、自然と膝部が屈曲位になります。合わせて足首の弾力性も失います。

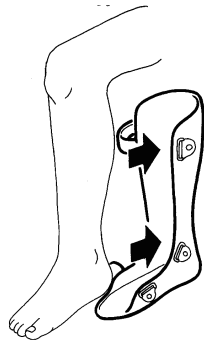
# 4. 装着方法

## 4-1 短下肢装具の装着

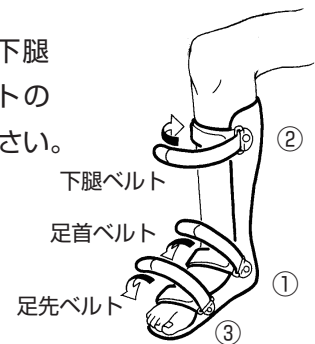
- ① 短下肢装具を用意します。装具には左右がありますので、間違いのないよう、確認してください。



- ② 椅子等に腰を掛けた状態で踵をしっかり装具の奥深くはめ込み、足首ベルトで固定してください。

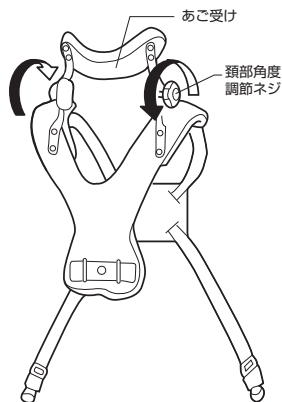


- ③ 次に、足首ベルト、下腿ベルト、足先ベルトの順番に固定してください。

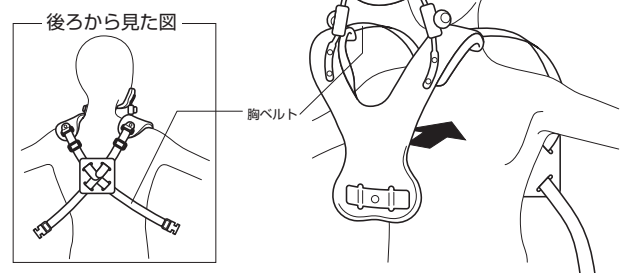


## 4-2 頸椎装具の装着

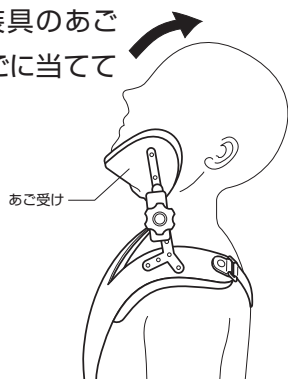
- ① あご受けが自由に動くようになるまで左右の頸部角度調節ネジをゆるめてください。



- ② 装具と胸ベルトの間からかぶるように頭から入れて、肩の奥深くはめ込んでください。



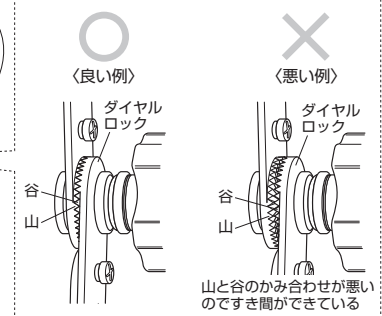
- ③ 顔をできるだけ上に向かせ、装具のあご受けをあごに当ててください。



- ④ あご受けが動かないようになるまで、左右の頸部角度調節ネジを締めてください。

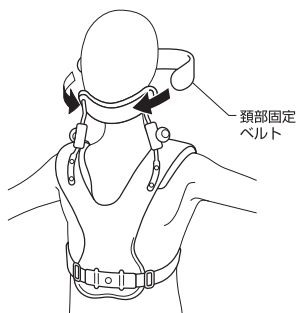
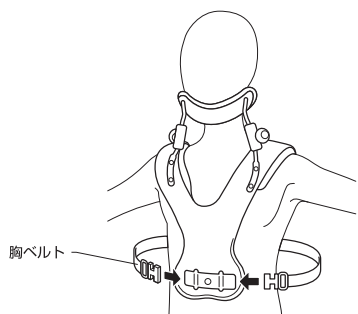


ダイヤルロックの「山と谷」は正確にかみ合わせてください。かみ合わせが悪い場合あご受けが固定できません。



⑤胸ベルトを締めて、頸椎装具全体を身体に固定してください。

⑥白色の頸部固定ベルトで後頭部を固定します。



これで装着は終了です。付き添い人の介助を受けながらゆっくりと立ってください。付き添い人は転倒等の事故の防止に努めてください。

## 5. 使用方法

### 5-1 ご使用前の注意点



### 警告

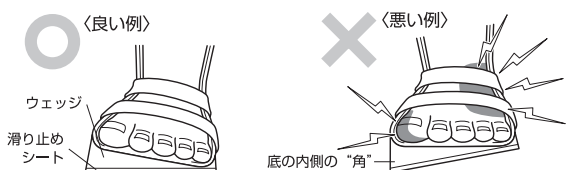
- 頸椎や膝・足関節において手術経験のある方や現在痛みやしびれがある方は病状が軽減する、あるいは完治してから使用してください。
- 装具装着中は身体の動きが制限されます。動作に危険や不安を感じたら、無理をせず使用を中止してください。
- 本装具の使用は必ず2人1組で行ない、使用者と付き添い人で役割分担し転倒等の事故防止に努めてください。
- 家具等使用中に転倒した場合に危険と考えられるものが周囲にないことを確認してからご使用ください。
- 階段やその付近で使用しないでください。転倒により、死亡または重傷を負う恐れがあります。

### 5-2 立ってみましょう

本装具は高齢者に多く見られる下肢機能の低下を模擬的に再現できるよう、装具の底の内側にくさびをつけたり、足首を曲げたような状態で固定し、立ちにくくしています。



### 注意



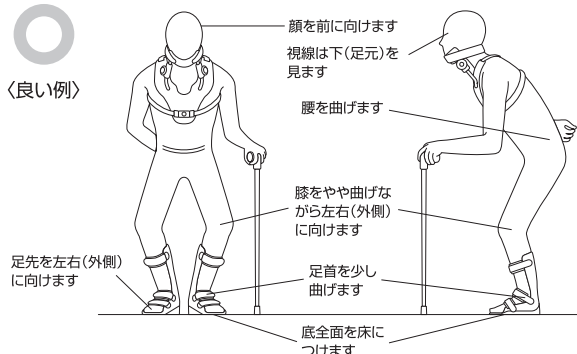
立位の際は短下肢装具の底(すべり止めシート)全面を床につけるようにしてください。無理に正常姿勢(0脚にならないような立ち方=底の内側の“角”だけを床につけて立つ姿勢)をとると、転倒したり、装具の縁が足にあたって”装具ずれ”をおこしたりする恐れがあります。

※装着にあたっては素足でなく、長めの靴下を必ず着用してください。

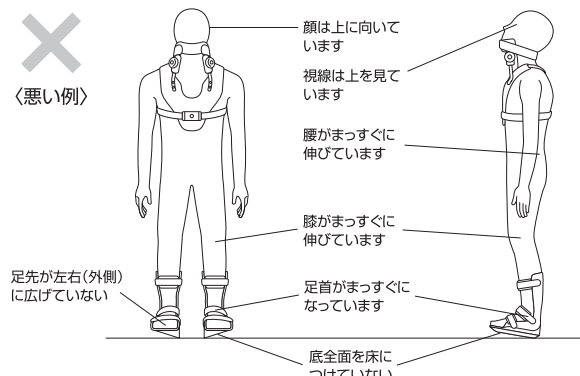
装具装着時「立ちにくさ」に逆らわず、身体の力を抜きリラックスした状態で、足元を見ながら、付き添い人の介助を受けて、装具の底全面を床につけて、ゆっくりと立ってください。



〈良い例〉



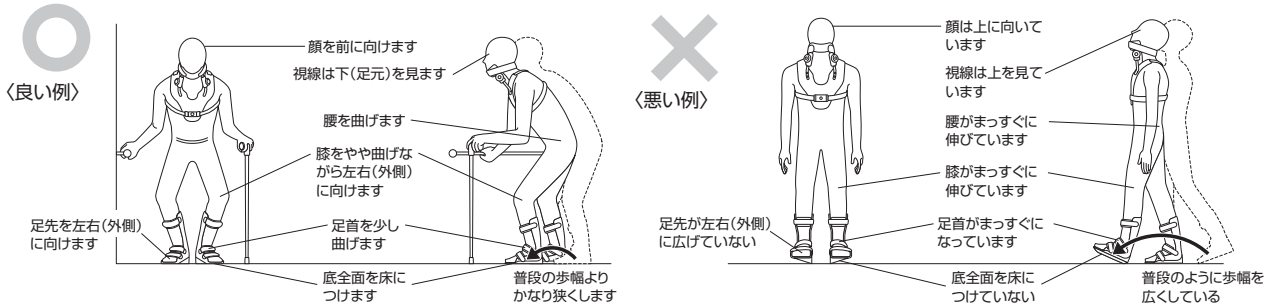
〈悪い例〉





### 5-3 歩いてみましょう

歩き始めると、自然に「外股、O脚、腰曲がり、歩幅の狭い歩き方」になりますが、このような状態が高齢者の歩行姿勢の特徴の一つです。身体の力を抜きリラックスした状態で、足元を見ながら、付き添い人の介助の下、装具の底全面を床につけてゆっくりと歩行してください。杖をついたり、手すりを持つことで歩きやすくなります。

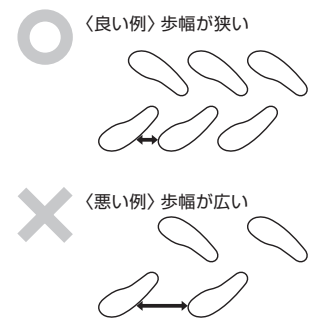
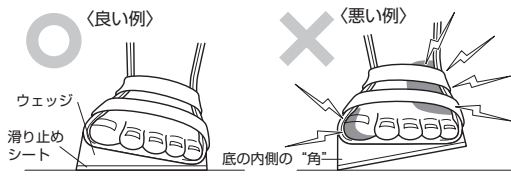


## ⚠️ 注意

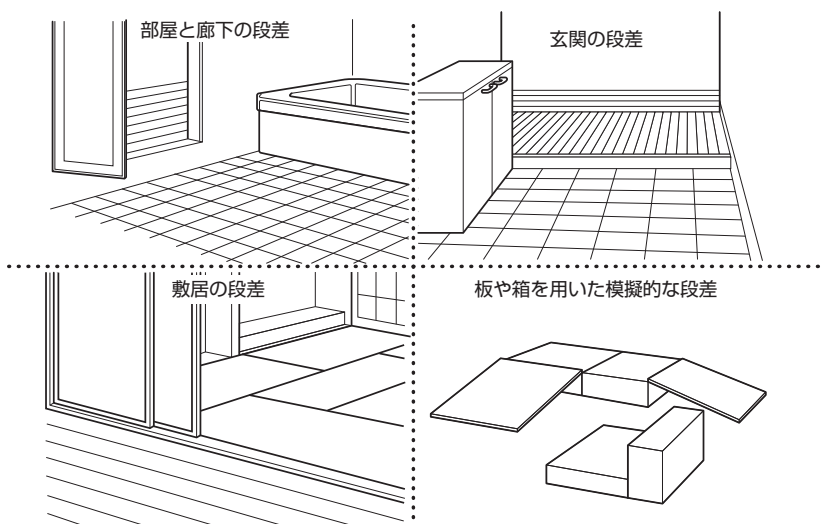
歩行の際は短下肢装具の底(すべり止めシート)全面を床につけるようにしてください。無理に正常姿勢(O脚にならないような立ち方=底の内側の"角"だけを床につけて立つ姿勢)をとると、転倒したり、装具の縁が足にあたって"装具ずれ"をおこしたりする恐れがあります。

つま先を外に広げて歩行してください。正常状態だと歩きにくくなり、転倒する恐れがあります。

歩行時は歩幅を狭くしながら歩いてください。歩幅を広くして歩くと転倒する恐れがあります。



身近にある段差で高齢者の歩行を体験してみましょう。



## ⚠️ 警告

階段やその付近で使用しないでください。転倒により死亡または重傷を負う恐れがあります。

## 6. 日常のお手入れ方法

---

汗をかいたり、装具が濡れたときは、風通しの良いところで陰干しをしてよく乾かしてください。マジックベルトの粘着力が低下している場合は、安全のため交換が必要となりますので弊社までご連絡ください。なお、毛玉等が付着した場合は、つまようじなどをマジックベルトの表面に滑らせて取り除いてください。

お肌に触れるクッション部分（布や革）の汚れがひどい場合は、ぬるま湯で湿らせた布などを押し当ててふき取ってください。

金属やプラスチック部分の汚れがひどい場合は、ぬるま湯で湿らせた布などでふき取ってください。

直接ぬるま湯などに装具をつけないでください。（金属部分にさびが生じる恐れがあります）

## 7. 材質

---

部品名	材質
プラスチック部	高密度ポリエチレン (サブオルソレン)
ベルト	牛革
マジックベルト	ナイロン
足底材料	EVA
すべり止めシート	塩ビ

部品名	材質
内張りパッド	ポリエチレン発泡体+塩ビコーティング
胸部ベルト	ナイロン
バックル	ポリアセタール
カン	鉄+クロムメッキ
ジョイントカバー	ネオプレーンゴム
ベルトパッド	ネオプレーンゴム

## 8. 廃棄方法

---

各自治体の指示に従い、廃棄処分してください。

## 9. 保証とアフターサービス

---

保証期間中は  
保証書の記載内容に基づき修理させていただきます。

保証期間経過後の修理は  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

 **川村義肢株式会社**

大東本社 TEL.072-875-8020 FAX.072-875-8041 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1

東京本社 TEL.03-5635-1611 FAX.03-5635-1612 〒136-0073 東京都江東区北砂1-19-9

本書の著作権は川村義肢株式会社に帰属しており、許可なく本書の全てまたは一部を複製することはお断りいたします。